

平成 24 年度

男鹿市財政援助団体等監査結果報告書

男 鹿 市 監 査 委 員

監 第 26 号
平成24年8月23日

男 鹿 市 長 渡 部 幸 男
男鹿市議会議長 吉 田 清 孝 様
男鹿市教育委員会委員長 目 黒 恵 子

男鹿市監査委員 湊 忠 雄

男鹿市監査委員 笹 川 圭 光

財政援助団体等監査の結果について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、平成24年度の財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

目 次

I 監査の対象団体と執行年月日	1
II 監査の着眼点	3
III 監査の方法	3
IV 監査の結果	3
(監査対象団体)	
・秋田みなみ農業協同組合	4
・秋田県漁業協同組合（北浦総括支所）	5
・男鹿地区交通安全協会	6
・男鹿市防犯協会	7
・秋田中央交通株式会社	8
・秋北バス株式会社	9
・秋北バス株式会社	10
・船川港築港 100 周年記念事業実行委員会	11
・社会福祉法人 男鹿市社会福祉協議会	12
・男鹿市単位老人クラブ（71 単位老人クラブ）	13
・青少年育成男鹿市民会議	14
・社団法人 男鹿市観光協会	15
・なまはげ柴灯まつり実行委員会	16
・男鹿市商工会	17
・男鹿市商工会	18
・一般財団法人 男鹿市体育協会	19
・秋田船方節全国大会実行委員会	20
(指定管理施設)	
・男鹿市若美老人福祉センター	21
・男鹿市体育施設	22

I 監査の対象団体と執行年月日

平成 24 年度の財政援助団体等監査については、平成 23 年度に市が財政的援助を与えた団体（財政援助団体）の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

財政援助団体名	補助金の名称	交付額（円）	所管課所名	執行年月日	
秋田みなみ農業協同組合	男鹿産農産物生産拡大等支援事業費補助金	500,000	農林水産課	平成 24 年 6 月 29 日	
秋田県漁業協同組合（北浦総括支所）	沿岸漁業構造改善事業費補助金	733,000			
男鹿地区交通安全協会	男鹿地区交通安全協会補助金	200,000	生活環境課		
男鹿市防犯協会	男鹿市防犯協会補助金	535,000			
秋田中央交通株式会社	秋田県生活バス路線等維持費補助金	66,875,000	総務企画課		
秋北バス株式会社	秋田県生活バス路線等維持費補助金	22,000			
秋北バス株式会社	生活交通路線維持費補助金	565,000			
船川港築港 100 周年記念事業実行委員会	船川港築港 100 周年記念事業実行委員会補助金	14,869,521	海フェスタ推進室		
社会福祉法人男鹿市社会福祉協議会	男鹿市社会福祉協議会活動専門員補助金	2,485,000	福祉事務所		平成 24 年 7 月 2 日
男鹿市単位老人クラブ（71 単位老人クラブ）	男鹿市単位老人クラブ補助金	2,858,460			
青少年育成男鹿市民会議	青少年健全育成活動事業費補助金	539,000	子育て支援課		
社団法人男鹿市観光協会	社団法人男鹿市観光協会補助金	3,638,000	観光商工課		
なまはげ柴灯まつり実行委員会	なまはげ柴灯まつり補助金	2,431,000			
男鹿市商工会	男鹿市商工会運営費補助金	5,414,000			
男鹿市商工会	男鹿のやきそば B-1 グランプリ全国大会出場支援事業費補助金	500,000			

一般財団法人 男鹿市体育協会	男鹿市体育協会 活動費補助金	390,000	生涯学習課	平成24年 7月6日
秋田船方節全国大会 実行委員会	秋田船方節全国大会 補助金	1,473,000		

平成23年度に市が指定管理を行わせた団体の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

指定管理者名	指定管理の名称	指定管理料 (円)	所管課所名	執行年月日
社会福祉法人 男鹿市社会福祉協議会	男鹿市若美老人福祉 センター管理	1,900,000	福祉事務所	平成24年 7月2日
一般財団法人 男鹿市体育協会	男鹿市体育施設 指定管理	65,606,000	生涯学習課	平成24年 7月6日

平成23年度に市が指定管理を行わせた団体及び財政援助団体の中から次の団体を抽出し、実地監査を実施した。

指定管理者名	指定管理の名称	指定管理料 (円)	実施場所	執行年月日
社会福祉法人 男鹿市社会福祉協議会	男鹿市若美老人福祉 センター管理	1,900,000	男鹿市若美老人 福祉センター	平成24年 7月6日
一般財団法人 男鹿市体育協会	男鹿市体育施設 指定管理	65,606,000	男鹿市 総合体育館	

II 監査の着眼点

当該財政援助等に係る出納その他の事務の執行状況について、次の点に主眼をおいて実施した。

(補助金関係)

- ① 財政援助団体及び所管する各課の補助金交付手続が条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- ② 補助金は交付目的に沿って適正に執行されているか。
- ③ 補助金に係る会計処理は適正であるか。
- ④ 会計処理上の責任体制は明確であるか。

(指定管理関係)

- ① 指定管理者及び所管する各課の協定手続が条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- ② 指定管理業務に係る会計処理及び施設管理は適正であるか。
- ③ 施設の利用状況について。

III 監査の方法

監査は所管課にあらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、監査委員事務局において補助金については交付決定に関する原議書類、実績報告書及び決算書の関係書類、また指定管理者については協定に関する書類、事業報告、及び決算に関する書類を監査するとともに、担当職員の説明を聴取した。

平成 24 年度は所管課の監査のほかに指定管理者の出納が適正に処理されているか、指定管理料が目的に沿って運用され、住民福祉等の面から十分な効果を発揮しているか検証するため実地監査も行った。

IV 監査の結果

補助金・指定管理料は、総括的にその目的に沿って管理、執行されており、出納その他の事務は概ね適正に処理されているものと認められた。

以下、財政援助団体、指定管理者ごとの監査内容は次のとおりである。

秋田みなみ農業協同組合

1 補助金の名称

男鹿産農産物生産拡大等支援事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	500,000 円
財 源 (一般財源)	500,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市農林水産課関係補助金等交付要綱

4 補助金の交付目的

特産品の販売促進を図る。

5 事業概要と効果

秋田プライウッドが製造した杉合板材を材料として、男鹿産「わかみメロン」のギフト用木箱を作成し、従来のわかみメロン注文用パンフレットに新たに木箱入りのレッドメロンと秋田美人メロンを加え、どちらの品種も秀品 2L3 個入り、送料込 2,800 円とし、3,000 円以内に抑えることで、消費拡大を図る。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,589,700 円 (市補助金の比率 31.5%)
支 出	1,589,700 円
差 引	0 円

7 所 見

市内木材会社製造の合板を活用し、市内農産物の消費拡大と男鹿観光のPRが図られたことから、補助目的を果たしているものと推量されました。

秋田県漁業協同組合（北浦総括支所）

1 補助金の名称

沿岸漁業構造改善事業費補助金（畠漁港給油施設）

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額 733,000 円

財 源 （一般財源） 733,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市農林水産課関係補助金等交付要綱

4 補助金の交付目的

給油施設（タンク）を整備することにより、船舶の燃料を安定供給する。

5 事業概要と効果

男鹿市北浦入道崎の畠漁港の給油施設地上タンク 1 基が 15 年以上を経過し、老朽化したことから給油施設の整備により、船舶への燃料の安定供給を図る。

6 事業収入、支出の状況

収 入 2,310,000 円 （市補助金の比率 31.7%）

支 出 2,310,000 円

差 引 0 円

7 所 見

給油施設地上タンクを入れ替えたことにより、船舶に軽油を安定供給することができたことは、補助目的を果たしていると推量されました。

男鹿地区交通安全協会

1 補助金の名称

男鹿地区交通安全協会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	200,000 円
財 源 (一般財源)	200,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

生活環境課団体等に関する補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

交通秩序の確立及び交通安全を促進する。

5 事業概要と効果

季節ごとの全国交通安全運動の際、チラシの配布や交通安全市民の集いの開催、その他交通安全パレードや市内大型店舗への交通安全店内スポット放送の依頼、飲酒運転根絶のための飲食店訪問など、交通事故防止の活動に取り組む。

高齢者や幼児に対する交通安全教室の開催による交通安全啓蒙活動により、市民の交通安全に対する意識の向上につながっており、男鹿市における交通事故発生件数の減少に寄与している。

6 事業収入、支出の状況

収 入	13,187,491 円 (市補助金の比率 1.5%)
支 出	12,024,910 円
差 引	1,162,581 円

7 所 見

「交通安全高齢者大学」や園児や小学生を対象にした「交通安全教室」の開催など市内各地区において対象を絞った効果的な交通安全啓蒙活動により、市民の交通安全に対する意識の向上につながり、市内における交通事故発生件数の減少に寄与していることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

男鹿市防犯協会

1 補助金の名称

男鹿市防犯協会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	535,000 円
財 源 (一般財源)	535,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

生活環境課団体等に関する補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

関係機関・団体と連携しながら自主的防犯活動を積極的に推進することにより、犯罪のない明るく住みよい地域社会を形成する。

5 事業概要と効果

市内12支部の定期的な防犯パトロールの実施や防犯啓蒙の看板や錦旗の設置や広報誌の全戸配布等の啓発事業を積極的に推進している。

また、男鹿市防犯協会の主催事業の実施や、自主防犯団体への指導・協力、街頭における啓発活動などにより、市民の防犯意識の向上につながっており、男鹿市における犯罪発生件数の減少にもつながっている。

6 事業収入、支出の状況

収 入	566,360 円 (市補助金の比率 94.5%)
支 出	566,178 円
差 引	182 円

7 所 見

防犯啓発活動による市民の防犯意識の向上により、市内の犯罪発生件数の減少につながっていることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

秋田中央交通株式会社

1 補助金の名称

秋田県生活バス路線等維持費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	66,875,000 円
財 源 (一般財源)	66,875,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市生活バス路線維持等補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

生活バス路線維持のため

5 事業概要と効果

市内を運行する路線バスに対する補助金

男鹿南線 (みなと市民病院～門前)

男鹿北線 (みなと市民病院～湯本駐在所)

船越線 (みなと市民病院～船越駅前)

潟西南部線 (船越駅前～若美総合支所)

6 事業収入、支出の状況

収 入	91,053,167 円 (市補助金の比率 73.4%)
支 出	91,053,167 円
差 引	0 円

7 所 見

市民の日常生活に必要不可欠な交通手段を確保していることから、補助目的を果たしているものと推量されました。

秋北バス株式会社

1 補助金の名称

秋田県生活バス路線等維持費補助金（男鹿市分）

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	22,000 円
財 源（一般財源）	22,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市生活バス路線維持費等補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

生活バス路線維持のため

5 事業概要と効果

市内を運行する路線バスに対する補助金
五明光線（2）（五明光～能代ステーション）

6 事業収入、支出の状況

収 入	613,960 円	（市補助金の比率 3.6%）
支 出	613,960 円	
差 引	0 円	

7 所 見

市民の日常生活に必要不可欠な交通手段を確保していることから、補助目的を果たしているものと推量されました。

秋北バス株式会社

1 補助金の名称

生活交通路線維持費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	565,000 円
財 源 (一般財源)	565,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市生活バス路線維持費等補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

生活路線バス維持のため

5 事業概要と効果

市内を運行する路線バスに対する補助金
五明光線 (1) (五明光～能代ステーション)

6 事業収入、支出の状況

収 入	20,971,439 円 (市補助金の比率 2.7%)
支 出	20,971,439 円
差 引	0 円

7 所 見

市民の日常生活に必要不可欠な交通手段を確保していることから、補助目的を果たしているものと推量されました。

船川港築港 100 周年記念事業実行委員会

1 補助金の名称

船川港築港 100 周年記念事業実行委員会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	14,869,521 円
財 源 (一般財源)	14,869,521 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市補助金等交付規則

4 補助金の交付目的

船川港の歴史を振り返るとともに、新たな 100 年に向けて港の利用促進及び男鹿の魅力为全国へ発信し、地域振興を図る。

5 事業概要と効果

- ・客船、海上自衛隊艦艇、教育実習船、北前船復元船の寄港歓迎式・一般公開・体験航海の実施
- ・船川港に関する資料展示
- ・ラジオ公開番組収録
- ・夏休みこども写生大会・写真コンクール
- ・土木遺産シンポジウム
- ・映画上映などのほかラグビー、コンサート、各種シンポジウムなどの連携事業

6 事業収入、支出の状況

収 入	16,370,767 円	(市補助金の比率 90.8%)
支 出	16,370,767 円	
差 引	0 円	

7 所 見

各種船舶や港の活性化を考えるシンポジウム等の 13 自主事業で、総事業費 1,916 万円、入込数 4 万 2,700 人。経済波及効果は、来場者一人あたりの観光消費額を試算した結果、約 1 億 400 万円の経済波及効果があったと推計されることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

社会福祉法人 男鹿市社会福祉協議会

1 補助金の名称

男鹿市社会福祉協議会活動専門員補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	2,485,000 円
財 源 (一般財源)	2,485,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市社会福祉補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

男鹿市社会福祉協議会活動専門員の人件費を補助し、支援を求める弱者に対する早期対応等を図る。

5 事業概要と効果

民間社会福祉活動の推進方策の調査、企画、連絡調整、広報、指導、その他実践活動の推進に従事する者を社会福祉協議会へ配置し、社会福祉協議会活動の強化を図るため、主に人件費の一部を補助するものである。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,485,000 円	(市補助金の比率 100.0%)
支 出	2,485,000 円	
差 引	0 円	

7 所 見

福祉活動専門員を配置することにより、高齢者の相談や困りごとに対する市と社会福祉協議会との連携が強化され、支援を求める弱者に対し早期に対応できることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

男鹿市単位老人クラブ（71 単位老人クラブ）

1 補助金の名称

男鹿市単位老人クラブ補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額 2,858,460 円

財 源（一般財源） 2,858,460 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市社会福祉補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

単位老人クラブの育成及び自主運営、会員の資質向上並びに社会福祉の増進助長のための補助を行う。

5 事業概要と効果

- ・各種スポーツ大会、レクリエーション大会の参加
- ・各種研修会、講習会等への参加
- ・地域活動への参加
- ・定例会及び総会等の開催
- ・他クラブとの交流会の実施

6 事業収入、支出の状況

収 入 11,575,236 円（市補助金の比率 24.7%）

支 出 8,502,353 円

差 引 3,072,883 円

7 所 見

各種スポーツ大会への参加や健康づくり講習会等の受講により、自らの健康に関する意識が助長され、また、単位老人クラブが強化されることで、様々な活動が可能となり、老人たちの生きがい対策の一つにもつながっていることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

青少年育成男鹿市民会議

1 補助金の名称

青少年健全育成活動事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	539,000 円
財 源 (一般財源)	539,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市児童福祉補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

広く市民の総意を結集し、市の施策と呼応して青少年の健全な育成を図る。

5 事業概要と効果

- ・男鹿市子ども会リーダー養成講習会では、集団生活を通じて子ども同士の交流と地域子ども会のリーダーとしての認識を深め、心身の健全な育成が図られた。
- ・各種防犯に関する街頭活動、ポスター掲示等を行うことにより、青少年を非行から守るとともに、健全な青少年の育成が図られた。
- ・小中学生を対象に「あきた家族ふれあいサンサンデー」作文を募集し、優秀作品の作文集を発行することで、温かな家庭づくりの認識を深めることができた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	868,252 円	(市補助金の比率 62.1%)
支 出	818,699 円	
差 引	49,553 円	

7 所 見

男鹿市子ども会リーダー養成講習会での心身の健全な育成づくりや青少年を非行から守る活動が図られたことから、補助目的を果たしたものと推量されました。

社団法人 男鹿市観光協会

1 補助金の名称

社団法人 男鹿市観光協会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	3,638,000 円
財 源 (一般財源)	3,638,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

観光誘客宣伝に係る各種事業を当該団体と連携し、観光振興を図る。

5 事業概要と効果

- ・観光案内、情報発信、観光誘客、観光イベント
- ・総会、理事会、協議会等の開催
- ・美化清掃活動
- ・懇談会、座談会の開催

6 事業収入、支出の状況

収 入	98,550,032 円	(市補助金の比率 3.7%)
支 出	98,382,681 円	
差 引	167,351 円	

7 所 見

震災の影響により、東北全体の観光情勢が厳しい中、震災対策緊急誘客キャンペーンなどを活用した着地型旅行商品の拡充や旅行エージェントへの団体ツアーの商品造成依頼、また、個人型旅行者への受け入れ態勢の強化、魅力ある男鹿の観光情報発信など観光関連団体が一丸となり、震災後の男鹿観光への観光誘客に努力した結果、現在は回復傾向に向いていることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

なまはげ柴灯まつり実行委員会

1 補助金の名称

なまはげ柴灯まつり補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	2,431,000 円
財 源 (一般財源)	2,431,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

「なまはげの里」男鹿をPRするとともに、冬期間の誘客及び地域の活性化を図る。

5 事業概要と効果

平成24年2月10日から3日間、真山神社及び周辺施設を会場にして、男鹿半島地区で毎年大晦日に行われる伝統的な民俗行事であり、国指定重要無形民俗文化財「男鹿のナマハゲ」と真山神社に古くから伝わる神事「柴灯祭」を組み合わせた観光行事を行い、冬季の観光誘客を図り、地域活性化に寄与した。

6 事業収入、支出の状況

収 入	5,838,657 円	(市補助金の比率 41.6%)
支 出	5,088,006 円	
差 引	750,651 円	

7 所 見

市内の団体や企業、町内会等で組織する実行委員会の主催で、第49回目の実施となった。市内外から多くの来場者があり、「みちのく5大雪まつり」の一つとして好評を得ている。さらに、公共交通機関の利用促進を呼びかけるなど環境対策に努めている。

まつりの開催により、期間中の宿泊や周辺施設及び会場内での購買、飲食等により地域の賑わいや経済が活発になったことから、補助目的を果たしていると推量されました。

男鹿市商工会

1 補助金の名称

男鹿市商工会運営費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	5,414,000 円
財 源 (一般財源)	5,414,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

組織経営の拡大と強化、運営基盤の安定を通じ地域振興活動や経営の改善及び事業への積極的な取り組みを図る。

5 事業概要と効果

○頑張る企業・事業者の育成

- ・経営指導員による企業への巡回、経営課題の抽出と解決に向け提案を行い経営と雇用の安定に努める。
- ・中小企業を中心とした求人の掘り起こしや情報収集
- ・インターネット販売などの取り組みの促進

○元気のある地域づくり

- ・商店街の賑わい創出のため、各地区で市日の開催
- ・特産品や物産品の販路拡大支援
- ・男鹿駅を中心とした観光地づくりのため駅前周辺の賑わい創出

6 事業収入、支出の状況

収 入	152,598,436 円	(市補助金の比率 3.5%)
支 出	152,598,436 円	
差 引	0 円	

7 所 見

経営指導員の巡回パトロールや経営体質改善の支援により経営の安定化が推進されたとともに、朝市の開催やあしねけ事業の展開により賑わいが創出され地域振興がはかられたことから、補助目的を果たしたものと推量されました。

男鹿市商工会

1 補助金の名称

男鹿のやきそば B-1 グランプリ全国大会出場支援事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	500,000 円
財 源 (一般財源)	500,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市産業建設課観光商工課補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

男鹿市への行楽客の誘客と賑わいの創出及び全国へ向けた P R 活動の展開を図る。

5 事業概要と効果

平成 23 年 11 月 11・12 日に兵庫県姫路市姫路城周辺で、第 6 回 B 級ご当地グルメの祭典！B-1 グランプリ in 姫路が開催され、男鹿の焼きそばを広める会の 43 人が参加した。出展団体数は 63 団体で、2 日間の来場者数が 515,000 人の中で、男鹿の焼きそばを 6,320 食売り上げた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,636,791 円	(市補助金の比率 30.5%)
支 出	1,636,791 円	
差 引	0 円	

7 所 見

過去最多、約 52 万人を集めた「B-1 グランプリ全国大会」において、二日間で用意した 6,000 食を終了時間前に完売。ナマハゲ効果による集客で開始前から長蛇の列ができるなど、おもてなしや地域を P R する町おこし活動の披露の場として、男鹿の存在を十分に全国に周知することが図られたことから、補助目的を果たしたものと推量されました。

一般財団法人 男鹿市体育協会

1 補助金の名称

男鹿市体育協会活動費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	390,000 円
財 源 (一般財源)	390,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

男鹿市体育協会に加盟している団体の活動・育成を図る。

5 事業概要と効果

男鹿市体育協会に加盟している各種競技団体 26 団体に 15,000 円を育成費として補助し、活動を助けた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,926,866 円	(市補助金の比率 13.3%)
支 出	2,780,672 円	
差 引	146,194 円	

7 所 見

多くの市民がスポーツに親しみ、市民スポーツ大会に参加し、自己の健康増進と体力向上が図られている。また、各団体でのスポーツ指導者の育成や競技力向上等の一環としてスポーツの集いが開催されるなど、補助目的を果たしたものと推量されました。

秋田船方節全国大会実行委員会

1 補助金の名称

秋田船方節全国大会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	1,473,000 円
財 源 (一般財源)	1,473,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

秋田船方節を正しく伝承保存し、これを広く普及するとともに豊かな文化を築き上げ地域の発展と文化意識の向上を図る。

5 事業概要と効果

第24回秋田船方節全国大会が平成23年11月20日(日)に男鹿市民文化会館を会場に開催された。年少者一部20名、年少者二部3名、熟年の部37名、一般の部70名の参加者があった。年少者一部・二部では男鹿市在住の小学生2名が最優秀賞を受賞した。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,549,452 円	(市補助金の比率 57.8%)
支 出	2,164,933 円	
差 引	384,519 円	

7 所 見

秋田県の民謡の中でも全国的に親しまれ愛唱されている「秋田船方節」発祥の地である当地での開催は、男鹿市を全国的に知らしめる機会であるとともに、県内外の民謡愛好家から自慢ののどを披露していただく大会として定着している。

開催内容に創意と工夫を凝らし、その正しい伝承と保存及び普及に努め、豊かな文化の構築と地域の発展や文化意識の向上の一助となるよう継続してきていることから、補助目的を果たしたものと推量されました。

社会福祉法人 男鹿市社会福祉協議会

(指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市若美老人福祉センター条例

2 指定管理料

金 額	1,900,000 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

男鹿市若美老人福祉センターの管理に関する基本協定書
男鹿市若美老人福祉センターの管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

- (1) センターの使用の許可及び使用の制限等に関する業務
- (2) センターの施設及び設備の維持管理に関する業務

5 利用料金

無料であるが、設置目的以外の用途により使用された場合は有料となる。

6 事業の概要

民間の指定管理者を設置することにより、民間能力や知識を幅広く活用し住民サービスの向上を図る。また、施設の管理に係る人件費や修繕などの一部を指定管理者が負担することにより、市の管理コストの軽減を図る。

7 事業の収入と支出の状況

収 入	1,900,000 円
支 出	1,900,000 円
差 引	0 円

8 所 見

地域住民や学校関係の集会に利用され、地域に結び付いた施設であり、市民へのサービスの向上が図られていることから、適切な管理運営をされていると推量します。

今年度は所管課の監査のほかに指定管理者の出納が適正に処理されているか、指定管理料が目的に沿って運用され、地域住民の福祉及び地域の活性化の面から十分な効果を発揮しているかを検証するため実地監査も行い、定款、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表を調査した結果、適正に処理されていると認められました。

一般財団法人 男鹿市体育協会 (指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市都市公園条例、男鹿市公園条例、男鹿市若美球場条例、男鹿市 B&G 海洋センター条例

2 指定管理料

金 額	65,606,000 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

男鹿市体育施設の管理に関する基本協定書
男鹿市体育施設の管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

- (1) 本施設の利用の許可及び利用の制限等に関する業務
- (2) 本施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 本施設を活用したスポーツの普及振興に関する業務

5 利用料金

各条例に定めるところによる。

6 事業の概要

- ・施設の設置目的・理念を理解した管理運営、利用促進
 - ・利用者に対するサービス向上への取り組み
 - ・施設の安全管理の徹底
- 年間利用者人数 94,176 人 (前年比 116.1%)

7 事業の収入と支出の状況

収 入	66,888,931 円
支 出	65,461,816 円
差 引	1,427,115 円

8 所 見

市の地域振興にかかわるスポーツ事業及び各種スポーツ団体、体育協会傘下競技団体の各種教室や大会開催へ積極的に施設開放するとともに利用者の要望等を把握し、より快適に利用できるように配慮してスポーツの振興や地域の活性化に効果的な管理運営に努めていることから、適正な管理がされていると推量されました。

なお、今年度は所管課の監査のほかに指定管理者の出納が適正に処理されているか、指定管理料が目的に沿って運用され、スポーツの振興及び地域の活性化の面から十分な効果を発揮しているか検証するため実地監査も行い、定款、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表を調査した結果、適正に処理されていると認められました。